

# 平成28年度社会福祉法人高根沢町社会福祉協議会事業報告書

<b>(1) 地域福祉事業</b>	
①	<b>ひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯の登録による各種訪問と生活支援</b> 登録者に対し訪問員に加え、民生委員、在宅福祉協力員の協力を得ながら、定期的な訪問を実施し、安否確認及び各種相談に対応。 ・ひとり暮らし高齢者(276名)、高齢者世帯(132世帯)
②	<b>安心見守り牛乳事業</b> 登録者の内、原則75歳以上のひとり暮らし高齢者に対し、2日に1度牛乳宅配を行い、安否確認を実施。 ・137名配達(3月末実績)
③	<b>日常生活用具貸与事業 (特殊寝台・車椅子・歩行器等)</b> 介護保険制度の福祉用具レンタルを利用できない方(要介護1以下)を対象に3か月間の無償貸し出し。 特殊寝台14件、車いす39件、歩行器3件、杖3件、Pトイレ4件、Sカート2件
<b>(2) 介護予防事業</b>	
①	<b>一般高齢者介護予防事業「元気はつらつ教室」の開催</b> 町内6会場にて、月一回の介護予防運動教室を実施。各会場ともに栄養指導、口腔ケア指導、介護予防体操を実施 ・延べ1,273名参加
②	<b>高根沢町生活支援協議会への参画</b> 町主催で開催される協議会へ参加し、介護保険制度改正に伴う新規事業の開発、調査、実施について協議 ・8回開催、(生活支援サポーター講座、通所型サービスA開所、地区懇談会開催)
③	<b>☆生活支援コーディネーターの配置と生活支援サービスの構築</b> 本会にコーディネーター1名を配置し、生活支援協議会の方針を受けた調整、事業実施を行い、制度の推進を図る。 ・地域の居場所設置、地区懇談会の開催、サポーター養成講座及び地域調査
<b>(3) 福祉センターの指定管理運営</b>	
①	<b>各種団体の会議室利用</b> 当センターの会議室、相談室、ホール、和室を貸出し、高齢者やボランティア等の会議会場として活用
②	<b>福祉総合相談窓口の設置</b> 当センター内に事務所を構える「次世代高根沢」、「すまいる」と連携し、多世代にわたる複合課題を抱える相談者への窓口を設置
③	<b>高齢者の福祉センターを利用したサークル活動の促進</b> 高齢者サークル活動を推進し、各種団体の活動施設として提供 ・毎週開催(囲碁、将棋)、隔週開催(カラオケ、民舞、手芸サークル)

#### (4) ボランティア、住民活動の育成・強化活動

##### ① ボランティア保険助成事業

ボランティア活動中の事故に備え、全社協ボランティア保険の加入を推進し、加入窓口を設置。学校支援ボランティアには保険料を助成。

・個人登録188名(内災害ボラ7名)、団体登録12団体(会員総数356名)

##### ② 朗読ボランティアとの連携

町広報誌及び社協だよりの読替テープ作成を「朗読ボランティアみすず会」の協力を得て実施。

・町広報誌読替12回、社協広報誌読替1回

##### ③ 障害児支援ボランティアとの連携

障害児と学生ボランティアの交流事業を「GENKI応援ボランティア」の協力を得て実施。

・心身障害児交流事業、クリスマス会の運営

##### ④ 志民活動サポートセンターの参画

志民団体、NPO、企業、ボランティアなどが集い、個々の課題に対して手上げ方式で事業創出する会議を開催。

・定例会12回開催 ニュースポーツ交流事業、避難所体験講座を実施

#### (5) 福祉教育事業

##### ① 高齢者と子供の交流会

(共同募金配分事業)

保育園(地域)の特色を生かした、子どもと高齢者の交流活動を実施

・7保育園にて保育園児、高齢者延べ817名が交流

##### ② 児童生徒等に対する福祉体験講師派遣

児童生徒への福祉の理解を進めるため、職員の派遣や講師の派遣を実施

・阿久津小学校、北小学校にて福祉講座を開催

##### ③ 学生ボランティアセンター

(共同募金配分事業)

小中高大学生の夏季休暇期間を利用して、福祉施設等でのイベントサポートや利用者支援補助などのボランティア活動の場を提供

・中学生105名、高校生62名参加(高齢、障害、児童施設等で活動)

#### (6) 高齢者福祉対策事業

##### ① 地域の居場所(ふれあいいいきいきサロン)設置

(栃の実基金)

ふれあいの環境づくり、趣味や特技を生かせる場として、行政区単位のふれあいいいきいきサロンを設置

・8カ所運営、新規立ち上げ支援4カ所

##### ② 日常生活自立(あすてらす)支援事業

判断能力に不安がある方の金銭管理を代行するサービスとして、基幹社協(矢板)と連携した生活支援を実施

・利用者15名(新規契約者4名、途中解約者3名)

<p>③ ひとり暮らし高齢者等乾燥事業事業          障害や高齢のため布団干しが困難な方に対し、月一回の布団感想を実施。6月と12月には丸洗い乾燥          ・利用者2名</p>
<p>(7) 母子父子福祉対策事業</p>
<p>① 母子父子家庭交流事業 (共同募金配分事業)          母子父子家庭の交流を目的として春休みの期間に栃木市への旅行を計画したが、参加者が集まらず中止</p>
<p>(8) 心身障がい者(児)対策事業</p>
<p>① 視力障がい者への広報等朗読テープ配布事業          広報等を読み替えたテープを作成し、希望者へ定期的に配送          ・読替テープ利用者10名</p>
<p>② 定期手話講習会、講習生研修の開催          5月から3月までの間、毎週水曜日にタウンセンターにて手話講座を開催。併せて、受講生の交流を目的とした研修会を実施          ・受講生12名</p>
<p>③ ☆心身障害児とボランティアの交流事業          那須方面への障害児及び保護者の研修を、「すまいる」、学生ボランティアの協力を得て実施。          ・児童、ボランティア17名参加</p>
<p>④ ☆デジタル録音図書(デージー)普及事業          テープに替わる録音機器の導入のため助成金等を検討。町と協議の結果次年度以降も協議を継続</p>
<p>(9) 災害時対策事業</p>
<p>① 訪問員による災害時要援護者調査および台帳の管理          災害時に自力での避難が困難な方を事前に把握するため、訪問員の個別調査によって台帳を作成。新規登録に加え、既登録者への再訪問を実施。          ・訪問件数323件、世帯登録626世帯</p>
<p>② 在宅福祉ネットと連携した福祉避難所設置          町災害対応訓練に合わせて福祉避難所設置及び福祉対策本部との連携訓練を実施          ・14団体、22名参加</p>
<p>(10) 情報発信</p>
<p>① 広報誌「社協だより」の発行 (共同募金配分事業)          5月、10月の定期発行及び1月特別号(フードバンク周知)の発行</p>
<p>② 「広報たかねざわ」での啓発          広報7月号(事業報告)及び毎号に愛の基金寄附者掲載</p>
<p>③ 町内各種イベントでの啓発          さくらフェスタ、エコフェスタ、こどもまつり、町文化祭にて啓発</p>
<p>④ ホームページ、等のWeb啓発の強化          ホームページリをニューアルして(2月)啓発</p>

## (11) 援護事業

### ① 心配ごと相談所の開設

日常の困りごとや様々な相談に、相談員（民生委員）が対応する相談所を月2回（5日、20日）に開催

- ・24回開設、相談件数12件（財産問題、苦情等）

### ② 生活福祉資金貸与事業

他の貸付制度が利用できない低所得世帯等へ、資金の貸付と必要な相談支援を行う県社会福祉協議会事業。その窓口として相談、申請を受ける。

- ・新規貸し付け2件（緊急小口資金1件、総合支援資金1件）
- ・滞納繰越件数30件（償還中10件、据置中5件、滞納15件）

### ③ 町福祉金庫の運営

他の貸付制度が利用できない低所得世帯等へ、資金の貸付と必要な相談支援を行う本会自主事業。

- ・新規貸し付け11件（完了7件、償還中4件）
- ・滞納繰越件数17件（償還中9件、滞納8件）

### ④ 行路人旅費貸与事業

- ・行路人に対して宇都宮もしくは氏家までの切符を貸与する事業

- ・利用1件

### ⑤ 火災見舞い金品の給付

火災にあわれた世帯に対して布団、救急日用品を給付する事業

- ・支給無し

### ⑥ 不要入れ歯リサイクル事業

役場及び福祉センターに回収箱を設置し、回収した不要入れ歯から希少金属のリサイクルを行う事業

- ・27年度実績により10,384円換金

## (12) 募金活動

① 赤い羽根共同募金戸別募金	3,034,700円(5,069戸)
"    募金箱等	191,843円
"    テーマ募金(フードバンク)	158,953円
② 日本赤十字社会費	2,623,000円(5,246戸)
③ 町愛の基金戸別募金	1,038,500円(5,193戸)
"    一般寄附	403,695円
④ 社会福祉協議会費	2,607,000円(5,214戸)
⑤ 各種義援金、救援金の募集	(東日本大震災4,000円、熊本震災募金335,268円)

## (13) その他の活動

### ① 赤十字奉仕団員活動

赤十字の活動を支えるボランティアとして、様々な活動を実施

太田地区防災訓練、図書館ご縁祭り、町文化祭、県福祉施設文化祭での炊き出し

② 善意銀行の運営 善意による物品の寄付窓口を設置
③ 共同募金会事業
④ 赤い羽根共同募金地域助成事業 (共同募金配分事業) 23団体、1,110,000円助成
⑤ 日本赤十字社事業
⑥ 在宅福祉ネットへの協力
(14) 担当事務局
① 栃木県共同募金会高根沢町支会
② 日本赤十字社栃木県支部高根沢町分区
③ 日本赤十字社栃木県支部高根沢町分区赤十字奉仕団
④ 高根沢町シニアクラブ (運営支援)
⑤ 高根沢町母子寡婦福祉会 (運営支援)
⑥ 高根沢町身体障害者福祉会 (運営支援)